



# まちづくり協議会ニュース

第3号 令和6年4月

## 第1回学研高山地区南エリアに関する地権者意向調査結果

本調査は、南エリア基本計画の作成にあたり、地権者が所有されている土地について、今後の土地活用への意向を把握し、計画を具体化していくための基礎資料とすることを目的に実施しました。

### 調査の状況



調査対象 133人

回答 97人

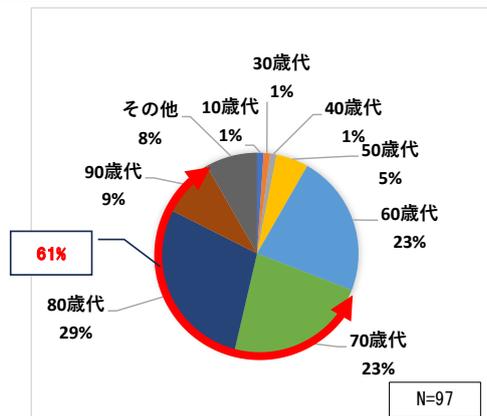
未回答 36人

回答率 72.9%



### 回答者の年代

回答者の年代については、80歳代が最も多く29%、次いで70歳代が23%、60歳代が23%、90歳代が9%で60歳以上が全体の8割以上を占めています。



### ～ アンケート結果 まとめ ～

- ・ 回答者の6割以上の方が70歳以上であり高齢化の傾向が見られました。
- ・ 所有されている土地の場所を把握していない方が1割以上おられます。
- ・ 現在、南エリア内の土地で耕作をしている方は1割ほどおられます。
- ・ 将来、自己利用を考えている方はおよそ4割おられます。
- ・ 土地の売却もしくは清算金の受取による現金化を考えている方はおよそ3割おられます。
- ・ 地権者の中には残る土地の大きさが不明なので回答できないという意見もありました。



⇒ 土地がどのくらい残るのか(=減歩率)については、次のステップである準備組合を設立し作成する「事業計画」の中で南エリアの平均的な減歩率が示されます。昨今、原材料費や人件費が高騰しており、減歩率も上がる傾向にあるのが現状です。

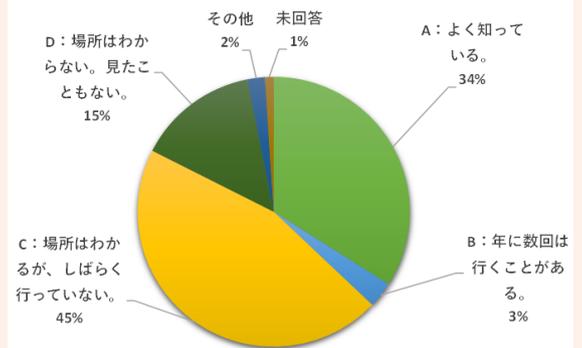
※減歩率:お持ちの土地のうち、事業費に対するコストとして提供する土地の割合

## ～ アンケート結果 集計 ～

### 問1. お持ちの土地の状況はご存じですか。

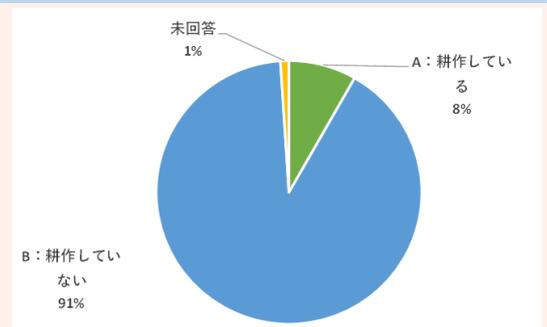
現在、所有されている土地の状況については、「C:場所はわかるが、しばらく行っていない。」とする方が、45%で最も多く、次いで、「A:よく知っている。」方が34%の状況です。

全体的には8割以上の方がお持ちの土地の場所を把握されています。一方、「D:場所はわからない。見たこともない。」方は、15%となっています。



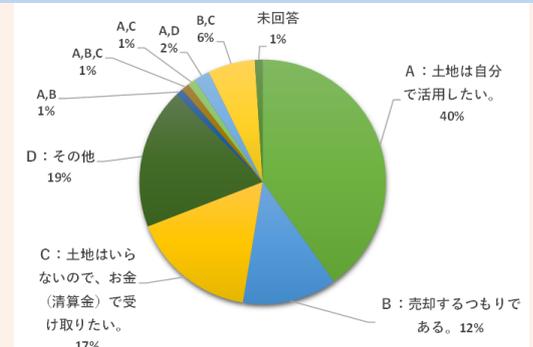
### 問2. お持ちの土地で耕作はされていますか。

現在、所有されている土地での耕作状況については、「A:耕作している」方が8%の状況です。



### 問3. 将来(事業後)の土地の活用はどうされますか。

・将来の土地活用については、「A:土地は自分で活用したい。」方が最も多く、40%の状況です。次いで「C:土地はいらないので、お金(清算金)で受け取りたい」が17%、「B:売却するつもりである」が12%の状況です。



## ～ 事務局から皆さんへ ～

### △ お 願 い △

次のような場合は、下記事務局までご一報いただきますようお願いいたします。

- ・土地の売買や相続等による権利変動が生じた場合
- ・お引越しによる住所変更など連絡先に変更が生じた場合
- ・婚姻などにより氏名等に変更が生じた場合

### ◎ 加入者募集中 ◎

現在も引き続きまちづくり協議会への加入を募っておりますので事務局までご連絡ください。

まちづくり協議会の詳細につきましては下記 URL をご覧ください。

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000032555.html>

発 行：学研高山地区南エリアまちづくり協議会  
事務局：生駒市都市整備部学研推進課内  
電 話：0743-74-1111(内線 3860)FAX：0743-74-9100  
E-mail：[gakken@city.ikoma.lg.jp](mailto:gakken@city.ikoma.lg.jp)